

日本安全性薬理研究会 第1回学術年会を終えて

2010年2月22日

日本安全性薬理研究会 第1回学術年会

発起人一同

2010年2月20日及び21日に、標記研究会を開催し、成功裏に無事終了させることができました。集計の結果、参加者は計183名と、当初の予想の2倍以上の方にご参加頂きました。また、演題数につきましても十分な準備期間をとれなかったにも関わらず多数の演題申し込みを頂き、プログラムの開始時間を早めるなど調整が必要な程でした。

内容的にも、安全性薬理研究を取り巻く環境やその歴史、さらに今後の課題など幅広い範囲を包括しているだけでなく、最先端研究や新しいツールについても紹介があり、充実したものであったと思います。また、研究会を終えた後、パネリストとしてご参加頂いた先生から、本研究会を振り返ってとても良かったとのコメントも頂戴しております。このような質の高い研究会を開催できたのは、ボランティアで招待講演やパネリストをお引き受け頂いた先生方、土日という条件にも関わらず積極的にご参加下さった皆様、ボランティアで多大なる支援を頂いた株式会社イナリサーチの職員の皆様、同日に開催されたにも関わらず会場設営にご協力を頂いた日本獣医循環器学会の皆様、ドリンクなどのご支援を頂いた協和発酵キリン株式会社様、ランチョンセミナーのご協力を頂いたプライムテック株式会社様、ブース展示を頂いた各社の皆様など、多くの皆様のご協力・ご賛同を頂いた賜物であり、発起人一同、関係各位に心より感謝申し上げます。

来年の第2回学術年会は、2011年2月18日(金)、19日(土)の2日間にわたり、今回と同様東京大学弥生講堂において開催される予定です。第2回学術年会長の和崎正彦氏(田辺三菱製薬株式会社)のもと、本年よりもさらに内容の充実を図りたいと考えておりますので皆様のさらなるご協力・ご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本会を継続的に発展させるため、発起人会は会則を作成すると同時に一旦解散し、改めて幹事会を発足させる予定であることを申し添えます。

以上